

農地を守る防除柵 ～いろいろあるけど、どれが良い？

野生動物から農地を守るための防除柵には、いろいろな種類のものがあります。今回は、よく見かける3種類の防除柵について、それぞれの特徴や設置と管理のポイントを紹介します。

管理は大変だが効果は高い！

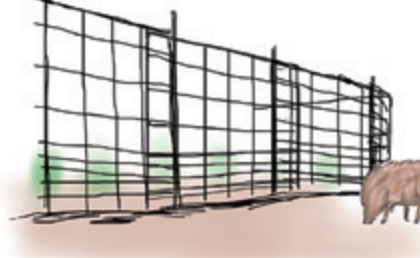
電気柵



三段くらいに張られたものをよく見かけますが、これは動物が鼻などで触れた時に、電気で驚かせて侵入を防ぐ、心理的效果を狙った柵です。きちんと性能を発揮していれば効果が高いですし、材料が軽くて設置しやすいのも良いところですが、草などが触れると漏電して効果が低くなるので、こまめな草刈りや点検が必要です。また、24時間通電させて、効果を維持し続けないと、動物に突破されてしまうこともあります。

設置は大変でも頑丈！

ワイヤーメッシュ柵



金属のワイヤーがメッシュ状に溶接されたもので、イノシシなど、登るのが得意ではない動物の侵入を、物理的に防ぐ柵です。地際をきちんと固定できていれば頑丈に設置できますし、電気柵ほど管理に手間はかかりません。しかし、柵自体が重くて、設置は大変です。本来は丈夫なのですが、草刈りをしないと周りがやぶになってしまい、イノシシなどの動物が人目に付かず安心してやぶに潜んで、最終的には柵を壊してしまうことがあります。この柵も、定期的に草刈りや点検をしましょう。

柵に登る動物にはこれ！複合柵



三段くらいの電気柵ではサルが飛び越えてしまいますし、ワイヤーメッシュ柵ではサルやアライグマ、ハクビシンなどは登って侵入してしまいます。これらを解決するため、ワイヤーメッシュ柵の上に電気柵を設置したものを、複合柵といいます。とても効果的な柵ですが、電気柵とワイヤーメッシュ柵両方の管理が必要になります。また、サル対策で設置する場合は、上から飛び込まれないよう、木や電柱から3mくらい離して設置しましょう。

どんな動物から農地を守りたいのか、目的に合った防除柵を選びましょう。それから、どんな防除柵でも管理が大切です！！

イノサル通信は村の鳥獣対策を支援する京黒さんからのお知らせです。



福島県避難地域鳥獣対策支援員

京黒 篤志 さん

令和3年1月から福島県避難地域鳥獣対策支援員を務めています。令和6年度から飯館村の主担当となりました。

現飯館村のエリアでは明治期までタイムツアカシ台が明かり取りに用いられていたそうです。細い鉄の棒を組んだ上で松を燃やし、粘土の箱の物に灰が落ちる仕組み。家族が集まる炉の近くに置かれ、松の補給（松アゲ）は子どもの役目でした。また、松ヤニを竹の皮に包んだヤニロウは、立てて燃やす際についてカスを落とすことからセツカンロウと呼ばれました。ロウソクもありましたが、用に足りない質の悪い物が多かったそうです。そして屋内の明かりは石油ランプに変わっていきま

ると、山津見神社が、真野川の水を誘導して発電機を回転させ社務所の点灯に成功。先の菅野さんは、この発電方法を地域に取り入れようと知人と計画を練り、実行に向け県との交渉を行いました。交渉の過程で、計画を拡大して引き継ぎたいという福島市の会社が現れ、菅野さんは新館大須両村全域に配電することを条件に了承。昭和14年に真野川発電所が完成し、同26年の廃業まで発電を続けました。その後、電力会社は合併などが進み、東北電力の配電が全村に普及したのは昭和39年のこと。最後に配電された蔵平地区は、昭和23年から小規模な水力発電を行っていたため、すでに無電灯地区ではありませんでした。その蔵平地区では現在、木質バイオマス発電事業が進められています。再生エネルギー事業は、震災以降、広く推進されています。



大火山で、太陽光発電と風力発電を組み合わせたクロス発電を行う「いいたてまでいな再エネ発電所」。



真野川にかかる「堰堤（えんてい）橋」。かつて発電所と堰堤があった場所にちなんで名付けられました。

おすすめ図書

ふれ愛館だより

交流センター「ふれ愛館」からのお知らせです。

変な家



雨穴 作
飛鳥新社

今年映画化されたミステリー小説。一見何とも思わないような間取り図は、よく見るとどこか違和感がある。読めば、あれ？なんかおかしい？と気づくはず。この間取り図の謎とは…ぜひ手に取って読んでみてください。

最後に「ありがとう」と言えたなら



大森あきこ 作
新潮文庫

納棺師としてさまざまな方々のお別れのお手伝いをしてきた作者。納棺式には一人ひとり違う物語があるようです。死とは何か、わたしたちはどう生きればよいのか、考えるきっかけをくれる1冊です。

第25回読書メッセージコンテスト

8月10日から読書メッセージコンテストの作品を募集します。1日1ページでも、5分でも、読書の時間を作ってみてください。読書は心を豊かにしてくれますよ。